

平成22年度事業報告

公益財団法人豊田市国際交流協会（Toyota International Association：T I A）は、昭和63年10月の設立以来、「国際化の主役は市民である」の理念のもと、国際交流・国際理解教育・多文化共生の活動を三本柱とし、地域の国際化を推進してまいりました。

平成22年度は、経済指標は若干好転したものもありましたが、国際化をとりまく状況は厳しい状況が続き、豊田市における外国人登録者数はこの1年間で1,445人減と、引き続き大きく減少いたしました。

こうした中、T I Aではブラジル人学校からの転籍により増加を続ける外国人児童の放課後学習を支援する取組を始め、就労支援のための日本語教室「やっぱり！！日本語講座」事業や、ポルトガル語と英語による夜間の相談事業を新たに実施してまいりました。

また、平成21年度より取り組んできました「国際の日」の事業におきましても、多文化共生の講演会や交流イベント、青少年の国際に関する作文の募集と発表等、多文化共生社会づくりを目指した取組を行うとともに、来訪外国人の皆さんがいつでも一人でも豊田市を知り、楽しんでいただけるように英語の観光モデルコースを作成し、配布してまいりました。

こうした取組も評価していただき、平成23年4月1日、T I Aは公益財団法人として新たなスタートを切ることになりました。ボランティアグループも新たに2グループ増え、11グループとなりました。今後、ボランティアや関係団体の皆さんとの連携をより密にし、時代に即した事業を積極的に行うことで、市民が主体となった国際のまちづくりを目指してまいります。

1 交流事業

(1) 国際親善使節受入事業

豊田市を訪問する外国人学生などの国際親善使節を受け入れ、市民との交流の機会を持ち、相互理解と友好親善を深めた。

ア ウェイン州立大学（米国デトロイト市）

平成23年6月の実施に向けて連絡を取り合った。

イ 桜花学園大学留学生（韓国）

時 期 平成22年11月27日（土）～28日（日）

受入人数 4人

(2) International Educators to Japan（I E J）プログラム受入事業

海外進出日系企業の駐在員の子どもを受け入れている現地公立学校の教師を日本に招待するプログラムへの協力をした。デトロイト市などからの教師を豊田市で受け入れ、ホームステイ、豊田市内の企業・学校訪問等を実施した。

時 期 平成22年7月1日（木）～3日（土）

受入人数 11人

(3) World Campus International (WCI) 受入事業

前身である Up With People の精神を引き継ぎ、ホームステイや地域活動などを通じて参加者の国際感覚やボランティア精神、リーダーシップ能力を養う WCI のプログラムに協力し、市民との国際交流の場を提供した。

時期 平成22年8月6日(金)～12日(木)

受入人数 15人

(4) ナショナルデー

とよたグローバルスクエアにおいて世界の国や地域の文化及び生活を紹介・披露するナショナルデーを開催し、外国人住民と市民との交流の場を提供した。

時期 平成22年4月18日～平成23年3月6日

日曜日 午後2時～

内容 全15回

15の国と地域(カナダ・フランス・イタリア・チェコ・ドイツ・マルタ・ジャマイカ・ガーナ・スコットランド・タイ・ブラジル・オーストリア・トルコ・中国・ニカラグア)の歌や踊りの披露・楽器演奏、文化紹介の講演

参加者 794人

(5) 「国際の日」事業の開催

TIAが設立された10月1日を「国際の日」として、市民一人ひとりが豊田市の一員であると同時に国際社会の一員であることを意識し、行動することができるように各種の事業を行った。

ア 多文化共生推進講演会&トーク

時期 平成22年10月1日(金) 午後1時～3時

内容 「グローバル時代の選択～多文化共生社会における人権問題～」と題し、多文化共生に関する最新の動きについて、人権分野の専門家の視点から講演をし、参加者と意見を交換した。

参加者 一般市民 80人

出演者 近藤敦氏(名城大学教授)

田村太郎氏(ダイバーシティ研究所代表)

イ キャンドルナイト

時期 平成22年10月1日(金) 午後5時30分～8時30分

内容 国際平和・環境をテーマにした多文化ステージと広場を開設し
キャンドル作り体験・フェアトレード製品販売・エスニック屋

台の出店・世界のダンスや音楽のパフォーマンスを披露した。
参加者 約2,000人
参加団体 10団体
場 所 シティプラザ（B館 t-FACE 1F）

ウ 「私の国際」募集と発表会

時 期 平成22年10月2日（土）
内 容 7月6日～8月20日に募集した「私の国際」と題した作文について、中学生の部・高校生の部・一般の部（22歳以下）の各部門で、最優秀賞・優秀賞・佳作の表彰と入賞者の発表を実施した。
参加者 50人（発表会）
応募者 42人（中学生29人、高校生2人、一般11人、内、中国籍10人、ブラジル籍13人）

エ 世界のことばカードの配布

時 期 平成22年10月1日（金）
内 容 豊田市内小・中・養護学校で実施される国際の日給食に併せ、25言語の言葉を紹介するカードを児童・生徒に配布した。
配布部数 40,000部

オ 市内観光モデルコースの作成と紹介

内 容 T I A ボランティアグループ E - I F F の協力を得て、短期来訪外国人がいつでも、一人でも楽しめる豊田市駅を発着とした市内観光モデルコースを作成し、英語で作成、市民に配布した。
コ ー ス 猿投山ハイキング、サイクリングコース（豊田市駅中心）、鞍ヶ池公園、民芸館、豊田市周辺ウォーキング
作成部数 1,000部／コース

カ 多文化カレンダーの作成

内 容 異文化への理解を図り、多文化共生社会を促進するためのカレンダーを作成し、市民に配布した。
配布部数 2,500部

キ 国際の日パネル展

時 期 平成22年10月1日（金）～3日（日）
内 容 国際交流や多文化共生に取り組むボランティアやNPO法人等の活動を紹介した
出 展 者 16団体

(6) その他各種共催事業

諸外国との相互理解と友好親善を深める各種交流事業を類似の団体とともに開催し、交流事業の多様化を図るため、随時、内容検討の上実施した。平成22年度は、財団法人あすてが開催する事業において、講演会に参加したりT I A紹介ブースを出展したりするなど随時協力・参画した。

ア 難民映画上演会

時 期 平成22年10月9日(土)
内 容 「ウォーダンス～響け僕らの鼓動～」の上映
参 加 者 262人

イ 国連UNHCR協会講演会

時 期 平成22年10月20日(水)
内 容 国連UNHCR協会事務局長高嶋由美子氏の講話
参 加 者 168人

ウ 日本文化体験デー

時 期 平成23年3月13日(日)
内 容 茶道・書道・華道・着付け・和紙細工・竹細工・琴・和太鼓などの体験イベント
参 加 者 220人

2 相談・斡旋事業

(1) ボランティア登録・育成・紹介事業

通訳、交流、支援などを行うボランティア330人が登録し、多様な活動を展開した。「国際の日」関連行事や機関誌編集などでボランティアの協力を得て事業を進めた。

また、今年度は2つの自主サークルがボランティアグループへ移行した。

ア ボランティアの登録・育成・紹介の実施

個人またはグループボランティアは、年度毎に登録・更新。新たに登録を希望する人には個々のボランティア活動を紹介し、人材の育成を図った。

ア) 個人ボランティア 通訳・翻訳
交流企画・推進ボランティア
業務サポート(機関誌発送作業など)
ホームステイ・ホームビジット

イ) グループボランティア

国際交流 オープンハート

国際協力	日本文化紹介
外国人住民と交流・支援	ほづみ会
	E-IFF
	ひらがなういずゆー
	日本語サロン
	Alpha 日本語教室
	日本語教室はじめのいっぽ
	英語ボランティア GLOBE（新規）
	華豊中国語教室（新規）
学習・情報提供	海外生活体験者グループ

イ ボランティア意見交換会の開催

T I A とボランティアグループの事業や活動状況の情報を共有するとともに、ボランティア活動環境の整備に努めた。

時 期 平成 2 2 年 5 月 9 日（日）、平成 2 3 年 3 月 2 0 日（日）
計 2 回

参 加 者 各グループ代表者及び中堅層

ウ 日本語支援ボランティアオリエンテーション

日本語教室のボランティアのためのオリエンテーションを年間通して開催し、T I A の教室で日本語学習のボランティア活動における初動体制を支援するとともに、その後の活動への定着を促した。

平成 2 2 年度は、外国人ボランティア、特にアジア系外国籍の若者のボランティア希望が数人あり、定着率も高かった。また、グループの受入体制もかなり整備されてきており、平成 2 3 年以降の受入れは全面的にグループに依頼できる状況にあると判断できるので、今後は各ボランティアグループに新規ボランティア受入れの初動体制を移譲していく。

時 期 平成 2 2 年 4 月 4 日（日）～平成 2 3 年 3 月 2 7 日（日）
年間で全 1 6 回実施

内 容 初めて日本語指導を学ぶ人のための基礎講座

参加資格 日本語支援活動に興味があり、講座終了後はボランティア活動のできる人

参 加 者 2 5 人中 1 4 人が活動継続（定着率 5 6 %）

（2）外国人多言語相談事業

土日の休日相談、緊急雇用創出事業及びふるさと再生雇用事業による平日昼間のポルトガル語・中国語の相談窓口に加え、平成 2 2 年度は新たに英語（昼間・夜間）と夜間のポルトガル語相談窓口を設けた。年間相談件数は、8 5 5 件となった。

ア 休日ポルトガル語・中国語相談

ポルトガル語（土曜日・日曜日）、中国語（火曜日午後・土曜日午前）の体制で、外国人住民のための相談活動を実施した。

相談件数 78件

イ 外国人緊急相談（昼間）（英語の相談は新規事業）

不況の長期化に伴う外国人住民からの相談に対応するため、ポルトガル語と英語の相談窓口を平日に設置し、関係機関窓口への仲介や情報提供、通訳・翻訳を行った。

時期 平成22年4月8日～平成23年3月30日

ポルトガル語：毎週火曜日～金曜日 午前10時～午後4時

英語：毎週水・金・日曜日 午前10時～午後4時

相談件数 147件

ウ 外国人緊急相談（夜間）（新規事業）

不況の長期化に伴う外国人住民からの相談に対応するため、ポルトガル語と英語の相談窓口を夜間の時間帯にも設置し、窓口相談体制のさらなる充実に努めた。

時期 平成22年4月1日～平成23年3月31日

毎週火曜日～土曜日 午後5時15分～午後9時15分

相談件数 111件

エ ふるさと雇用再生特別基金中国語相談

増加傾向にある中国人市民の相談に対応するため、中国語での相談窓口を平日にも設置し、市役所を始めとする関係機関窓口への仲介や情報提供、通訳・翻訳を行った。

時期 平成22年4月1日～平成23年3月31日

毎週水曜日～金曜日・日曜日 午前10時～午後4時

相談件数 133件

オ 当協会の職員による相談事業

上記相談員の配置がない時間帯においても、英語・スペイン語については、当協会職員が常時対応した。

時期 平成22年4月1日～平成23年3月31日

相談件数 386件

(3) 通訳派遣事業

外国人住民が市民生活を送る上で人道・人権に関わり、また緊急性の高い問題（福祉・保健・医療・教育に関わる諸手続きなど）に通訳補助が必要な場合に通訳者を

派遣した。また国際的なイベントなど依頼があった場合は、状況に応じて通訳者を紹介した。

相談件数 33件

〈派遣〉派遣件数 7回

言語 スペイン語4件、ポルトガル語2件、タガログ語1件

〈紹介〉紹介件数 12回

言語 英語4件、ポルトガル語2件、中国語2件、
タガログ語2件、ロシア語1件、ハングル1件

(4) 翻訳事業

市役所など公的機関に提出する公的書類について市民から依頼のあった翻訳を行うとともに、中国人住民への行政サービス等に関する翻訳業務を豊田市から受託し、実施した。また平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、緊急翻訳ボランティアを募集し、全国の国際交流団体と連携して、外国人被災者へ行政や関係機関からの情報を多言語で翻訳した。

〈通常対応〉

依頼件数 依頼分：39件、主に中国語翻訳依頼

その他：108件（英語47件、ポルトガル語29件、スペイン語3件、
中国語27件、ハングル2件）、出生・結婚証明書の翻訳など

〈東日本大震災での翻訳支援〉

ボランティア登録者：122人（英語61人、中国語20人、スペイン語
15人、ポルトガル語8人、タイ語4人、フランス
語4人、ハングル4人、ドイツ語3人、イタリア語
1人、トルコ語1人、ペルシア語1人）

翻訳件数：119件（英語88件、中国語21件、タイ語5件、ポルトガル語4件、スペイン語1件）

(5) 市内及び近隣地域の学校国際理解教育プログラム相談・支援事業

小中学校の総合学習や交流館等で取組が行われている国際理解教育プログラムの実施について相談・情報提供等の支援を行った。

相談件数 3件

実施件数 1校（小学校）

実施内容 T I A概要説明及びT I Aボランティアグループとの交流

(6) 子ども英語交流補助ボランティア

豊田市教育委員会と協力して、小学校で行われている英語学習の補助をするボランティアを募り、各学校へ派遣した。

時期 平成22年5月～平成23年3月

派遣校数 8校

派遣人数 17人

(7) 国際協力機構（JICA）ボランティア説明会開催事業

独立行政法人国際協力機構（JICA：ジャイカ）の海外ボランティア派遣事業の説明会を開催し、市民の事業への参加や国際協力への理解を促進した。

ア 春の説明会

時期 平成22年4月17日（土）午後2時～4時
参加者数 69人

イ 秋の説明会

時期 平成22年10月2日（土）午後4時～6時
参加者数 39人

(8) 外国人子弟教育支援事業（新規事業）

不況により、学習支援の場を求める子どもたちの入室が増加傾向にあるNPO法人や小学校の放課後学習支援クラスに対し、ポルトガル語の通訳・翻訳スタッフを雇用・派遣し、外国人を含む子どもたち全体の教育環境の改善に努めた。

期間 平成22年4月4日（日）～平成23年3月27日（日）
派遣先 NPO法人子どもの国、NPO法人トルシーダ、NPO法人保見ヶ丘国際交流センター、豊田市立西保見小学校、豊田市立東保見小学校 計5団体

3 研修・啓発事業

(1) 日本語講座

外国人住民が日本人と円滑なコミュニケーションを図り、充実した日常生活を送るための一助として、専門講師による日本語講座を実施した。

時期 前期：平成22年4月10日～9月18日
後期：平成22年10月16日～平成23年3月19日
毎週土曜日 午前9時30分～正午 各期全20回

クラス 入門～初級レベルの4クラス

受講者 126人（前期73人、後期53人）

出身国：ブラジル、中国、韓国、タイ、ペルー、フィリピン他

(2) 緊急雇用創出事業「やっぱり！！日本語講座」

雇用状況の長期悪化に伴い、増加する外国人失業者・求職者の就職を支援するため、日本語でのコミュニケーション能力の習得を重視した日本語教室を開催した。

時期 1期 平成22年4月13日～6月29日
2期 平成22年7月6日～9月28日
3期 平成22年10月5日～12月17日

4期 平成23年1月11日～3月25日 各期全11回
いずれも火・木・金曜日
昼間クラス 午後3時～4時30分
夜間クラス 午後7時～8時30分
クラス 入門・初級・上級レベルの3クラス
受講者 351人（入門153人、初級131人、上級67人）
主な出身国：ブラジル、中国、ペルー、フィリピン、タイ、
ネパール

(3) 国際理解教育セミナー

人権・平和・開発・環境など地球規模の問題への理解を深め、解決のため実践的な行動を起こすことができる市民の育成を狙いとし、平成22年度は「水」をテーマに3回連続セミナーを行った。

ア 映画上映会「ブルー・ゴールド 狙われた水の真実」
時 期 平成22年8月21日（土）午後2時～4時
受講者 55人

イ ワークショップ「水の教室～21世紀は水の時代“水はだれのもの？”
『海外の水あちこち事情』～」
時 期 平成22年8月22日（日）午前10時～正午
受講者 13人
講 師 木川 梢

ウ ワークショップ「水の教室～21世紀は水の時代“水はだれのもの？”
『商品化される水』～」
時 期 平成22年8月22日（日）午後1時30分～4時
受講者 13人
講 師 木川 梢

(4) 外国語講座

ア ハンゲル講座

我々にとって身近な国である韓国の言語・文化を学び、理解を深める機会を提供した。

時 期 前期 平成22年4月7日～7月28日
毎週水曜日 午後2時～4時 全16回
後期 平成22年10月29日～平成23年3月18日
毎週金曜日 午後7時～8時30分 全18回
受講者 前期12人、後期22人

イ 中国語講座

市内外国人登録人数が第2位である中国の文化を、言葉の学習を通して図るとともに、日本人と中国人の友好親善の機会を提供した。

時 期 前期：平成22年4月6日～7月27日
毎週火曜日 午後6時30分～8時 全16回
後期：平成22年9月9日～11月25日
毎週木曜日 午後6時30分～8時 全12回
受 講 者 前期12人、後期21人

ウ スペイン語講座

ラテンアメリカ出身者が多い豊田市の現状を踏まえ、入門レベルの講座を開催し、市民のラテンアメリカ諸国に対する理解を深める機会とした。

時 期 平成22年10月1日～12月17日
毎週金曜日 午後6時30分～8時 全12回
受 講 者 11人

エ その他外国語講座

上記以外の外国語講座について、豊田市内のニーズや講師の確保に応じて開講し、いずれも12回を1ターム（3か月程度）で開催した。

ア) ドイツ語

時 期 平成22年6月12日～9月4日
毎週土曜日 午後3時～5時 全12回
受 講 者 20人

イ) ポルトガル語

時 期 平成22年9月30日～12月16日
毎週木曜日 午後7時30分～9時 全12回
受 講 者 10人

ウ) ロシア語

時 期 平成23年1月9日～3月27日
毎週土曜日 午後1時30分～3時30分 全12回
受 講 者 11人

(5) 豊田市外国人災害サポートボランティア養成講座

大規模災害発生時、豊田市の要請によって出動し、外国人被災者への通訳・翻訳といった言葉の面からサポートが行う人材を確保し、支援に必要なスキルを高めるための講座を行った。

時 期 第1回 平成22年11月20日（土）
第2回 平成22年12月4日（土）

第3回 平成22年12月18日(土)

内 容

第1回

ア) オリエンテーション (T I A)

イ) 在住外国人に関する基礎知識 (市国際課)

ウ) 豊田市の災害の特徴と外国人被災者への対応 (市防災防犯課)

エ) カタストロフオイ～外国人避難疑似体験 (公益財団法人浜松国際交流協会 はままつ国際理解教育ネット 深沢和人氏)

第2回 「災害時通訳の概論、想定される状況での通訳訓練」 (N P O 法人 多文化共生センター東京 柴山智帆氏)

第3回

ア) 「災害時通訳の概論、通訳実習」 (N P O 法人 多言語センター F A C I L 吉富志津代氏)

イ) 修了式

受講者 42人 (外国人18人、日本人24人)

修了者 24人 (英語9人、ポルトガル語9人、中国語3人、スペイン語3人)

(6) 小学生国際理解教育学校招待プログラム

豊田市内の小学生396人をとよたグローバルスクエアに招き、大学生を中心とした市民ボランティアグループによる国際理解教育を実施した。詳細は以下の通り実施した。

実施日	学校名	参加学年 児童数	実施グループ	実施授業内容予定
6/18	東保見	6年 74人	愛知淑徳大学	世界の教育事情について
6/25	足 助	5,6年 38人	名古屋大学E I U P	パキスタン～森の大切さ～
7/6	平 井	5年 95人	愛知淑徳大学	食ショック!～もしも外国との つながりがなくなったら～
12/2	巴ヶ丘	6年 14人	幼い難民を考える会	おもちゃを知らない子どもたち
12/3	元 城	6年 36人	幼い難民を考える会	おもちゃを知らない子どもたち
12/14	中 山	6年 89人	名古屋大学E I U P	世界のいろいろな国々の人の話を聞いてみよう
1/18	岩 倉	5年 50人	名古屋大学E I U P	世界のいろいろな国々の人の話を聞いてみよう
	合 計	396人		

(7) とよた日本語学習支援システム支援 (新規)

平成20年度より開始された「とよた日本語学習支援システム」(豊田市から名古屋大学への委託事業)のシステムコーディネーターへの活動場所を提供するとともに、豊田市と協力しながら、企業及び地域における日本語教室の開催やボランティア

ア募集・派遣等のサポートを随時行いながら、外国人住民に対する日本語学習の機会拡充を図った。特に平成22年度は、プログラム・コーディネーター講座開催におけるPRや講座運営について支援を行った。

4 情報収集・提供事業

(1) T I A機関誌発行事業

国際交流に関する情報とT I Aの事業案内等のための機関誌「GLOBAL INFO」を発行。県・市町村の国際交流担当部署、各種国際交流団体、T I A関係者及びボランティアに配布した。

発行回数 年4回（平成22年4月、7月、11月、平成23年3月）

規 格 A4サイズ 4頁

発行部数 3,000部／1回

(2) 広報とよた「外国人のための情報コーナー」

豊田市の広報紙に英語・ポルトガル語による各種生活情報を掲載した。

発行回数 24回（毎号掲載）

発行部数 約159,000部／回

(3) T I Aホームページの運営

日本語のほか、多言語相談員を活用し、英語・ポルトガル語・中国語のホームページにT I Aの事業を始め、広報とよたや各種生活情報を掲載し情報提供に努めた。

(4) ライブラリー、新聞・雑誌コーナーの運営

市民が諸外国への理解や協力、地域の国際化への認識を深めるために、また、外国人が日本の歴史、文化、社会の理解を深めるために、必要とする図書、雑誌、新聞、資料、ビデオ等を収集・提供した。

(5) インターネットPC、無線LANの設置

多言語で対応できるインターネット端末と無線LANを設置し、とよたグローバルスクエアを訪れる市内在住外国人を含む市民への情報提供を行った。今年度より利用者の利便性向上のためにインターネットPCを無料で30分間利用できるようにした。

(6) 掲示板など情報コーナーの充実

掲示板など情報コーナーを充実させ、日本人と外国人との交流を深めるきっかけを提供した。また、多言語の情報・国際理解のイベント等の案内を収集・提供した。

5 国際交流団体育成事業

各種国際交流関係機関、団体等が実施する地域の国際交流事業に対し、支援を行った。

(1) 草の根の国際交流の推進

第8回とよた国際交流市民会議を開催し、各団体の事業計画・報告を実施し、国際交流活動に関する情報交換や事業への協力依頼を行った。

時 期 平成23年3月3日(木)午後2時～4時

(2) 助成金事業

地域の国際化に貢献する国際交流・国際協力・多文化共生を目的とした新規事業への支援を目的に実施した。募集案内は4言語(日本語・ポルトガル語・中国語・英語)で作成した。

内 容 国際交流・国際協力・多文化共生事業の募集・審査・助成金交付

申請件数 10団体

交付件数 10団体

助 成 先 ア) 団 体 名 : アイアン リーガー

事 業 名 : 第一回アイアン リーガー主催国際交流サッカー大会

内 容 : 小学生を対象にした国際交流サッカー試合。保見地区から3チーム、他地区から2チームで競った。参加者71人であった。

時 期 : 平成22年8月8日(日)

場 所 : 豊田市

参 加 者 : 72人

助成金額 : 38,944円

イ) 団 体 名 : スプリング ボンボン

事 業 名 : ともだちと歌おう!

内 容 : 「見たい、知りたい、感じたい」をテーマに万国共通の言語「音楽」を通じた国際理解を推進。各国・参加者の国の歌を歌うことで“違うけど同じ”を感じ合い、互いの文化・習慣・考え方を理解し相互理解を深める。末野原交流館にて週一回活動した。

時 期 : 平成22年8月6日(金)～2011年3月25日(金)

場 所 : 末野原交流館

参 加 者 : 814人

助成金額 : 30,100円

ウ) 団 体 名 : T I A ボランティアグループオープンハート

事 業 名 : 親子でわくわく!世界の人と日本料理や工作づくりをしよう&WCIありがとうイベントパーティー

内 容：T I Aで受入れるW C I（ワールドキャンパスインターナショナル）の参加者と市民との交流のための日本料理と工作教室及びW C Iからのありがとうイベントとしてのポトラックパーティを開催、誰にでもできる国際交流の楽しさと感動を地域の人に感じてもらい、異文化の理解を深めることができた。

時 期：平成22年8月11日（水）

場 所：T I A

参 加 者：105人

助成金額：30,666円

エ) 団 体 名：保見ヶ丘ブラジル人協会

事 業 名：保見にほんご教室 屋外学習

内 容：トヨタ鞍ヶ池記念館や旭高原を訪問し、豊田の地域産業や自然の豊かさを感じてもらうことで、地域の再発見を参加者に促した。日本語教室ボランティアと学習者の交流、また教室外での生の日本語に触れる機会となった。

時 期：平成22年9月26日（日）

場 所：トヨタ鞍ヶ池記念館、旭高元気村

参 加 者：24人

助成金額：42,974円

オ) 団 体 名：マザーグース

事 業 名：カナダ人のクリス先生と英語で遊ぼう

内 容：カナダ人の英語講師と一緒に英語の歌や絵触れ、子どもが小さいうちから親子で外国人や英語に接することで苦手意識をなくし、世界を身近に感じることができるようになることを目指した。

時 期：平成22年9月24日（金）～平成23年3月16日（水）

場 所：子育て支援センターあいあい他

参 加 者：670人

助成金額：45,032円

カ) 団 体 名：ホザ デ ボヘミアン

事 業 名：ブラジル少年野球チーム「サンベルナルド野球クラブ」野球用品支援事業

内 容：ブラジル、サンベルナルド市の野球チーム「サンベ

ルナルド野球クラブ」は経済的に恵まれない環境にある子どもたちに野球を教えることを目的に発足。野球用品が不足しているため、豊田市の野球連盟を通じて中古の道具の寄贈を募り同チームへ送付。ブラジルの子どもたちの健全育成と、日伯両国の相互理解と友好交流に寄与した。

時 期：平成22年10月1日～平成23年2月28日（月）
場 所：豊田市内
参 加 者：10人、市内25野球チーム
助 成 金：50,000円

キ) 団 体 名：保見中学校海外派遣団受入事業実行委員会
事 業 名：韓国カチウル中学校海外派遣団受入事業
内 容：交流のある韓国カチウル中学校からの訪問団の受入れ。市役所、TIA、トヨタ自動車工場などの訪問、保見中学校での交流事業などを通じて韓国の中学生との交流を深め相互理解を深めた。日本とアジアの国々との関わりに関心を持ち、国内外に豊田市の国際交流活動や国際理解教育を広める機会となった。

時 期：平成23年1月10日（月）～13日（木）
場 所：豊田市内
参 加 者：13人
助成金額：49,450円

ク) 団 体 名：NPO法人保見ヶ丘国際交流センター
事 業 名：保見ヶ丘クリスマスフェスティバル
内 容：センターで主催しているクリスマス会を保見団地内のオープンスペースで開催し、地域の人たちと交流することでセンターの存在を知ってもらうと同時に、その場を地域の誰もが集える活気ある場とするための雰囲気作りに貢献した。

時 期：平成22年12月25日（土）
場 所：保見団地141棟前の広場
参 加 者：200人
助成金額：45,000円

ケ) 団 体 名：保見ヶ丘ブラジル人協会
事 業 名：年末年始にかけ保見団地を明るくする会
内 容：以前は賑わいのあった保見団地内の広場が閑散とし、

治安の悪化等も懸念されるため、期間限定ではあるが広場を電飾やオーナメントで飾り、明るく人が集う場所とするきっかけづくりとした。

時 期：平成22年12月25日（土）～平成23年1月1日（土）

場 所：保見団地141棟前の広場

参加者：100人

助成金額：50,000円

コ) 団体名：NPO法人トルシーダ

事業名：ぴかぴか親子サロン

内 容：平成23年4月に新1年生となる外国人児童と保護者を対象に入学準備のための交流会を開催した。情報提供（入学に必要なもの・給食・年間行事とPTA等）と関連するテーマで楽しめる内容（写真立て・お弁当作り・入学祝いの会）を盛り込んだ。

時 期：第1回 平成23年2月25日（金）

第2回 平成23年3月11日（金）

第3回 平成23年3月25日（金）

場 所：保見ヶ丘UR都市機構142棟集会所、保見交流館

参加者：第1回21人、第2回23人、第3回27人

助成金額：50,000円

6 調査・企画事業

(1) 多文化共生のまちづくり推進事業の取組

地域の外国人住民が国籍や言葉の違いに関係なく、人間としての基本的な生活を送る上で支障をきたさないよう、更には外国人住民がもたらす豊かな個性を生かしながら、多様な価値観の共存する多文化共生のまちづくり実現に向け、仕組みづくりや法制度見直しなどの検討、関係部署との連携に取り組んだ。

また、外国人集住都市会議・豊田市多文化共生推進協議会などを通じ、多文化共生を内包した国際化の推進に努めた。

(2) その他の調査・企画事業の取組

地域の国際化に即した本協会の業務内容及び果たすべき役割、組織体制等を確立するため、国際化に携わる関係者との意見交換や視察等を実施した。

7 とよたグローバルスクエア運営事業

地域の国際交流の拠点として、国際交流や海外に関する情報の提供及び外国人への生活やイベント、観光地に関する情報の提供、各種相談への対応、日本人と外国人との交流を

深める場、ボランティア活動の場としてとよたグローバルスクエアを運営した。

8 その他 ボランティアグループなどの活動計画

T I Aに所属する9つのボランティアグループ活動の事業に対し、相談と支援を行った。

(1) 国際交流

ア オープンハート

ア) 各種ホームステイにおけるコーディネートを行った。

JENESYS 事業中国青年代表団 平成22年5月29日(土)～30日(日)

JENESYS 事業カンボジア理工系学生

平成22年11月22日(月)～23日(火)

桜花学園大学留学生(韓国)

平成22年11月27日(土)～28日(日)

イ) 「親子でわくわく！世界の人と日本料理や工作づくりをしよう

& W C I ありがとうイベントパーティー」

内 容 T I Aで受入れるW C Iの参加者と市民との交流のための日本料理と工作教室及びW C Iからのありがとうイベントを開催した。

時 期 平成22年8月11日(水) 午後2時～4時30分

参加者 42人

イ 日本文化紹介

ア) 日本文化体験クラス

内 容 豊田市来訪、在住・在勤の外国人に対し、日本文化体験クラスを随時開催した。(茶道・書道・華道・着付け・折紙・絵手紙)

時 期 平成22年4月1日～平成23年3月31日

参加者 85人

イ) 日本文化体験デー

内 容 喜楽亭にて茶道・書道・華道・着付け・折紙の体験イベントを開催した。

時 期 平成22年10月9日(土)

参加者 20人

ウ) 日本文化体験「そうめんパーティー」

内 容 夏の食べ物「そうめん」を扱った日本料理の体験講座を開催した。

時 期 平成 22 年 7 月 4 日 (日)

参 加 者 19 人

エ) おこしものをつくろう

内 容 おひなさまのお供え物の「おこしもの」を作る講座を開講した。

時 期 平成 23 年 2 月 27 日 (日)

参 加 者 23 人

(2) 国際協力

ほづみ会

タイ山岳民族の子どもの教育支援を目的としたバザーやタイ理解講座の実施した。

ア) 「第 21 回ほづみ会の集い」開催 (ほづみ会総会)

内 容 中野穂積氏によるタイでの活動近況報告

時 期 平成 22 年 4 月 24 日 (土)

参 加 者 25 人

イ) ナショナルデー「タイ・デー」開催

内 容 中野穂積氏によるタイでの活動近況報告

時 期 平成 22 年 10 月 31 日 (日)

参 加 者 40 人

ウ) 「ほっとかん祭り」参加

内 容 ほづみ会の活動紹介、タイの民芸品や菓子のバザー

時 期 平成 23 年 3 月 13 日 (日)

参 加 者 5 人

(3) 在住外国人との交流・支援

ア E-IFF

ア) 英語サロンの開催

内 容 英語によるスピーチと質疑応答

時期と参加者

平成 22 年 5 月 29 日 (土) 20 人

7 月 31 日 (土) 12 人

9 月 11 日 (土) 50 人

平成 23 年 1 月 22 日 (土) 24 人

3 月 19 日 (土) 50 人

イ) 酒蔵ツアーの開催

内 容 外国人を対象とした英語ガイド付きの酒蔵見学
時期と参加者

平成22年11月13日(土) 11人

27日(土) 9人

ウ) 四季折々の日本料理の開催

内 容 外国人を対象とした英語通訳付き日本料理の講座
時期と参加者

平成22年 4月17日(土) 16人

7月24日(土) 1人

10月30日(土) 10人

平成23年 1月29日(土) 15人

エ) その他

海外からの来訪者に対する通訳、翻訳など依頼に応じ、随時行った。

イ 日本語サロン

内 容 毎週水曜日の日本語教室の開催を通じた外国人住民の日本語
学習支援と子育て支援活動の実施

時 期 前期 平成22年4月～9月

後期 平成22年10月～平成23年3月

参 加 者 学習者 前期：103人 後期：102人

託児 前期：10人 後期：22人

ウ Alpha日本語教室

内 容 毎週日曜日の日本語教室開催と、外国人との交流・仲間づく
りを目的とした各種交流事業(もちつき、プレおいでんまつ
りへの参加など)を実施した。

時 期 ア) 平成22年5月～8月

イ) 平成22年9月～12月

ウ) 平成23年1月～4月

受講者数 ア) 123人 イ) 78人 ウ) 79人

エ 日本語教室はじめのいっぽ

内 容 毎週日曜日の午後、入門・初級レベルに特化した日本語教室
の運営と外国人との交流・仲間づくりを目的とした各種交流
事業(日本料理体験・日本文化体験・郊外学習)を実施した。

時 期 前期 平成22年4月～9月

後期 平成22年10月～平成23年3月

受講者数 前期：6人 後期：6人

(4) 学習・情報提供

ア ひらがなういずゆー

外国人のためのひらがな情報紙「ひらがなういずゆー」を発行し、生活や地域情報を平成22年度より3言語（ポルトガル語・英語・中国語）表記も含め提供した。1,200部、年3回発行。小・中学校の国際教室、地域の交流館や日本語教室などを中心に配布した。

イ 海外生活体験者グループ

内 容 海外生活サロンを開催し、海外の日本人学校の情報を共有した。

第1回： 「ハンブルグ日本人学校教育事情」

平成23年1月29日（土）午後2時～4時

講師：松本留美氏

参加人数：23人

第2回： 「上海における日本の教育事情」

平成23年2月5日（土）午後2時～4時

講師：田中幸一氏

参加人数：20人

(5) T I A 自主サークル

今年度は「英語ボランティア GLOBE」「華豊中国語教室」の2つのサークルがボランティアグループへ移行した。

(6) ブラジル人自助組織支援

ブラジル人が作る自助グループについて、円滑な活動ができるようサポートを行った。

ア 豊田日伯協会

ア) VIVA TOYOTA! 2010

内 容 外国人と日本人の交流を目的としたイベント

時 期 平成22年6月5日（土）～6日（日）

場 所 豊田スタジアム

参 加 者 延べ13,000人

支援内容 広報支援、協力団体の紹介、ブース出展等

イ 保見ヶ丘ブラジル人協会

ア) 保見共生フェスタ

内 容 地域住民の交流を目的としたイベント

時 期 平成22年7月18日（日）

場 所 保見団地
支援内容 広報支援、協力団体の紹介、ブース出展等

イ) 保見にほんご教室屋外学習

内 容 日本語教室ボランティアと学習者の野外交流イベント
時 期 平成22年9月26日(日)
場 所 トヨタ鞍ヶ池記念館、旭高原
支援内容 経費の助成(国際交流団体育成事業 助成金事業の第4項を参照)

ウ) 保見ヶ丘クリスマスフェスティバル

内 容 地域住民の交流を目的としたクリスマスイベント
時 期 平成22年12月25日(土)
場 所 保見団地
支援内容 経費の助成(国際交流団体育成事業 助成金事業の第8項を参照)

エ) 東日本大震災後の対応について

内 容 ブラジル人住民を対象とした地震に備える勉強会
時 期 平成23年3月27日(日)
場 所 保見団地
参加者 12人
支援内容 講師派遣、豊田市への協力要請、資料提供、ポルトガル語